

V 新しいチャレンジがわき上がる躍動経済をつくる

コロナ禍での経済の停滞からの早期脱却を図るとともに、中小企業の新展開支援や先端技術の開発、起業・創業などに積極的に挑戦し、日本、世界をリードする躍動する兵庫経済をつくります。

1 変化に強い産業構造を構築します

(44) 世界レベルの成長産業拠点を形成します

- スーパーコンピュータ富岳や放射光施設 Spring-8 をはじめとする先端科学技術基盤の集積を地域産業の成長源として活用します。
- 神戸から播磨にかけての金属素材産業の集積に、MI（マテリアルズ・インフォマティクス＝情報技術を活用した新素材開発）を加味し、次世代素材生産の拠点となる「メタルベルト」の形成を図ります。
- 健診データやカルテ情報等を匿名加工したビッグデータの利用を促進し、医療ロボット開発、新薬開発等を促進するとともに、個々人の健康増進につながるサービスを提供するなど健康医療産業のイノベーションを進めます。
- 脱炭素社会構築の切り札ともいえる水素エネルギーの実用化を加速するため、県内の企業や大学等と連携して水素の製造、輸送、保管、利用に関する技術開発を進めます。港湾施設の整備など液化水素大量輸入プロジェクトの実現にも協力します。
- 燃料電池、蓄電池の普及にあわせて車載用電池のリユースやリサイクル体制を強化するなど、新たな電池産業の中核拠点の形成をめざします。
- 優れた産業基盤や生活環境に加え、県内全域で利用可能な安価で高速の専用通信回線を活かし、県内各地へのオフィスや産業施設（物流センター、データセンター等）の誘致を促進します。

(45) 企業の危機管理の強化を支援します

- サプライチェーンの強化・再構築に取り組む企業を、設備投資補助、雇用補助、法人事業税減免などにより支援します。
- 大規模災害時における企業経済活動の継続を図るため、BCP（事業継続計画）の策定や同計画に基づく訓練を行う企業を支援します。

2 地域産業の新展開を支援し、元気企業を育てます

(46) 中小企業のコロナ禍からの再起支援やデジタル化支援を強化します

- 地域経済の要となる商工会議所、商工会等の体制強化に向け、専門人材費、経営指導員研修費、中小企業向け助成費などの支援を充実します。

- 県内中小企業のデジタル化に向け、スマートものづくり支援センター(神戸・阪神・播磨・但馬)を核としたデジタル技術の実装支援や、兵庫情報ハイウェイ利用の技術的支援等を強化します。
- 超スマート社会に向け、業種業態に応じたスマート・インダストリー・モデル地区を整備します(例:地場産業では企業を跨いだ一連の製造工程にIoTを導入、商店街では顔認証など最先端のキャッシュレス決済を導入等)。
- 企業経営や地域経済にSDGsの考え方を浸透させていくため、UNOPS GIC Japanや商工会議所・商工会と連携し、環境や社会課題への向き合い方等を学ぶサステナブルスクール(複数回の連続講義)を県内各地で開講します。
- 中小企業の事業承継を進めるため、県内外のやる気のある若者とのマッチングの仕組みを整えます。承継した企業を甦らせる第二創業を応援します。

(47) 地場産業の新展開など五国発のブランド戦略を展開します

- 真珠加工、ケミカルシューズ、播州織、三木金物、釣り針、皮革製品、豊岡鞆、いぶし瓦、線香など、兵庫には生活文化を支えてきた数々の地場産業が栄えています。これらに新発想のデザイン導入や業界融合の新商品開発を促進し、五国発の新たな世界ブランドとしての発展を支援します。
- 音楽、演劇等の舞台芸術、茶道、華道等の伝統文化に加え、様々なライブ、スポーツ、eスポーツ、映画、サブカルチャーなど、生活に彩りを与える文化活動をコンテンツ産業として育成します。
- 金属加工、木材加工をはじめ熟練した匠の技術を引き継ぐため、ものづくり大学の体験講座メニューを拡大します。熟練工が小中学校を訪問するキャラバン隊の派遣も再開します。

3 力強い農林水産業を確立します

(48) 農林水産業のスマート化を加速します

- 施設園芸における環境制御技術、自動草刈り機や自動水管理システム、ドローンによる薬剤散布の導入など、農業のスマート化支援を強化します。
- 肉用牛繁殖経営における発情・分娩監視システムや、酪農経営における搾乳ロボットを導入など、畜産業のスマート化支援を強化します。
- 森林資源を把握するための航空レーザ計測や、原木の品質を自動判定するセンサー機器の導入など、林業のスマート化支援を強化します。
- AIによる乾ノリ等級付けの自動化や、ICTを活用した漁場環境情報の収集など、水産業のスマート化支援を強化します。

(49) 農林水産業の経営基盤を強化し、競争力を高めます

- 都市近郊の立地を活かした野菜の生産拡大や、農業の法人化と経営力の強化、企業参入の促進、農地の集積・集約化を進め、競争力を強化します。
- 雇用就農の拡大や農作業の分業化等を通じて、子育て世代の女性や元気な高齢者、農福連携による障害者など、幅広い人材が農業に参画できる環境をつくります。
- ひょうごブランドの再構築と新ブランドを育成します。但馬牛・神戸ビーフの改良のためゲノム育種を導入、高温対策や生育診断技術の開発により酒米「山田錦」の品質を向上させます。地球温暖化に対応した水稻オリジナル品種を育成します。
- 県産木材の生産基盤の強化に向け、団地化、林内路網の整備、高性能林業機械の導入等を積極的に支援します。
- 次世代型の漁船への転換、最新型の設備への更新などの支援により栽培漁業の振興に取組み、安定的な漁業経営を推進します。魚礁漁場、増殖場の整備、藻場や干潟の再生にも取組みます。
- 農林水産業の発展を支える農協、漁協、森林組合や土地改良区など農林水産団体の活性化を支援します。

(50) 県産品の流通を広げます

- 安全・安心で、環境に配慮した生産方法等の特長をもつ「兵庫県認証食品」の県内流通を広げます。オンラインも含めた海外プロモーションやトップセールスにより、兵庫の食材の海外輸出を拡大します。
- コウノトリ育む農法をモデルに、兵庫全体を環境創造型農業の先進地にします。五国の多様な風土が育む安全安心の農水産物の学校給食での利用を徹底するなど、地産地消をさらに拡大します。
- 兵庫のり、酒米山田錦、丹波黒大豆、岩津ネギ、淡路島たまねぎ、淡路島3年トラフグ、サワラ、カキ、アサリ、有馬山椒、ローカルサーモンなど、多種多様な県産食品の産地拡大を支援するとともに、ナマコ、アジアカエビ、などさらなるブランド食品の育成を進めます。
- 木造住宅の建築促進に加え、公共施設、オフィス・店舗、福祉・介護施設等の木造木質を促進します。公共施設での県産木材使用量は、2030年までに現在の2倍以上に拡大します。

(51) 農地の保全・活用に向け、「耕作放棄地ゼロ作戦」を展開します

- 水害防止、生物多様性保持、景観形成等の多面的機能を発揮する農地と農村集落を次代に引き継ぐため、兼業の農家を含めたすべての農業者の活動を支えます。
- 耕作放棄地や放置林を公的に管理し、企業への貸付等により利活用を促進します。再生不可能な農地は里山として再整備します。これにより、耕作放棄地の荒廃を防止します。